



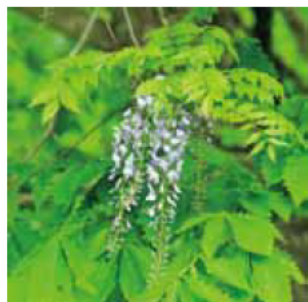
MieMu

みえむ

三重県総合博物館
MieMu: Mie Prefectural Museum, Japan

Stegodon miensis

2019 Annual schedule



フジ(つる植物)

第23回企画展

ボタニカル・デザイン ―植物のかたち、その観察―

4月20日(土)～6月16日(日)

植物は、動物のように自由に移動することができません。動けないからこそ、花やタネ、葉の形に工夫をこらし、子孫を残そうとしてきました。この企画展では、植物のさまざまな「かたち＝デザイン」に焦点を当て、植物の形の意味を考え、そのおもしろさを紹介します。また、第2会場では、さまざまな形の植物を集めたミニ植物園を開園します。MieMu 初、植物をテーマにした企画展です。

【料金】※()内は団体料金
一般：800円 (640円) 学生：480円 (380円)

基本展示とのセット観覧券
一般セット券：1,040円 (830円)
学生セット券：620円 (490円)
こども無料 (高校生以下)



「耳をすませば」絵コンテ(部分) 1995年
©1995 株あおい / 集英社・Studio Ghibli・NH

第24回企画展

開館5周年記念特別展 この男がジブリを支えた。近藤喜文展

7月6日(土)～9月16日(月・祝)

近藤喜文は、新潟県五泉市生まれ育った日本屈指のアニメーターで、高畑勲・宮崎駿両監督から厚く信頼を寄せられていた人物です。彼が急逝する前に手がけた唯一の長編監督作品「耳をすませば」は、今もおおくの人に愛されています。本展では、近藤喜文が描いたキャラクター・デザインやアニメーション原画、イメージボード、スケッチ等多数展示します。清潔な人柄と温かな眼差しから生まれた近藤喜文が描き出すジブリ作品の世界をお楽しみください。

【料金】※()内は団体・前売料金
一般：1,300円 (1,040円)
学生：800円 (640円)
小中高生：500円 (400円)
未就学児無料
※年間パスポートはご利用いただけませんので、予めご了承ください。

第25回企画展

開館5周年記念特別展 三重の仏像 ～白鳳仏から円空まで～

10月5日(土)～12月1日(日)

三重県は大和地方に隣接し、かつて都のあった京都からも比較的近いことから、県内には多くの優れた仏像が伝存しています。また、近年は仏師の活動がうかがえる発見など、調査研究による新知見の蓄積が進んでいます。この特別展では、平安・鎌倉期の仏像を中心に、秘仏、本尊を含む選りすぐりの三重の仏像を一堂に会し、その魅力をさまざまな角度から紹介します。MieMu 初、三重で16年ぶりに開催する本格的な仏像展です。

【料金】※()内は団体料金
一般：1,000円 (800円)
学生：600円 (480円)

基本展示とのセット観覧券
一般セット券：1,200円 (960円)
学生セット券：720円 (570円)
こども無料 (高校生以下)



木造十一面観音立像(重文)
津市白山町瀬古区蔵

第26回企画展

1960年代の熱気を未来につなぐ ～出来事でふりかえる60年の歩み～

12月21日(土)～2020年2月24日(月・振休)

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催が近づくにつれ、前回開催(1964年)当時への興味や関心も高まることでしょう。その頃の日本では、高度経済成長と呼ばれる経済的、物質的な発展とともに、人々の生活も急激に変化しました。私たちが古い写真などに「なつかしさ」を感じる時、その原点は1960年代にあると思われます。現在にいたる約60年間の出来事を、モノや映像・写真等でふりかえり、新たな時代を活力あるものにするためのヒントをさがります。

【料金】※()内は団体料金
一般：500円 (400円) 学生：300円 (240円)

基本展示とのセット観覧券
一般セット券：800円 (640円)
学生セット券：480円 (380円)
こども無料 (高校生以下)



三重県庁を出発する聖火リレー

◆三重の実物図鑑 特集展示

※観覧無料

三重の実物図鑑では主に人文・自然分野の収蔵品を展示しています。人文分野は資料保存のため定期的に展示替えを行います。

明治前期の三重のできごと

4月16日(火)～5月19日(日)

1877(明治10)年頃から1890年代には、明治政府の中央集権化が進められ、地方制度の変革、市町村合併が実施され、産業振興政策として博覧会が開催されました。これらの様子を歴史的公文書などから紹介します。



町村制度取調書之内
町村制実施取調上申書

三重の弥生時代

10月17日(木)～12月15日(日)

三重県埋蔵文化財センター共催

今から約2千数百年前に大陸から九州に伝わったコメ作りは、栽培知識や技術を向上させながら、西日本各地に広まりました。コメ作りに励み、蓄え、豊穰を祈った弥生人の生活やお墓にまつわる品々を、発掘調査で出土した資料から紹介します。



石斧づくり 宮山遺跡(いなべ市)出土
三重県埋蔵文化財センター保管

トピック展

幕末維新を生きた旅の巨人・松浦武四郎 再び

5月21日(火)～7月7日(日)

激動の幕末維新にあって異彩を放ち続けた旅の巨人、松浦武四郎。昨年開催した生誕150年記念企画展の研究成果に基づき、北海道踏査にとどまらない多様な活動を行った武四郎を見つめなおします。



大台へ向かう武四郎の姿
『乙酉筆記』より

2020年新春企画

三重のネズミたち

12月17日(火)～2020年1月26日(日)

子年にちなんで、当館の収蔵資料から「鼠(ネズミ)」に関連した資料を展示します。ネズミ目の動物の剥製標本のほか、子年の伊勢暦、鼠を描いた図譜・図鑑や、鼠がモチーフになった工芸品など、自然から歴史・文化まで幅広い分野の資料を展示します。



アカネズミ

新収蔵資料紹介

雲井コレクションにみる戦争と戦時下のくらし

7月9日(火)～9月8日(日)

今年は第2次世界大戦の終戦から74年目にあたります。このほど当館に寄贈された約5千点にのぼる戦時関係資料「雲井コレクション」の紹介を通して、戦争の悲惨さや平和の大切さについて考えます。



金属の代わりに非金属でつくられた代用品
陶製アイロン・湯たんぽ、ガラス製ナイフ

石器は語る～南伊勢地域の旧石器・縄文時代～

2020年1月28日(火)～4月12日(日)

旧多気郡勢和村(現多気町)を中心とする南伊勢地域の遺跡を、およそ30年の歳月をかけて踏査してきた研究者が採集した7万点にも及ぶ考古資料の中から、特に重要な旧石器・縄文時代の資料を紹介いたします。



大間広遺跡表採資料

※上記期間以外も収蔵品の展示を行っています。

利用案内 ●開館時間

交流創造エリア 午前9時～午後7時(無料)
展示エリア 平日：午前9時～午後5時
土・日・祝日：午前9時～午後7時(最終入場は、閉場30分前まで)
※開館時間を変更する場合があります。
●休館日 月曜日(祝日の場合は翌日、8/13は開館)、年末年始(12/29～1/3)、その他別途定める日
●観覧料
基本展示 一般510円(400円)、学生300円(240円)、高校生以下無料 ※()内は団体料金
《10月1日以降》
一般520円(410円)、学生310円(240円)、高校生以下無料 ※()内は団体料金
企画展示 展覧会ごとに別途料金を定めます。詳しくは各展覧会のお知らせをご覧ください。
年間パスポート 一般1,640円 学生1,020円
《10月1日以降》一般1,670円 学生1,040円
※学校の教育活動として県内の小・中・高・特別支援学校等の団体が観覧する場合、障害者手帳等をお持ちの方および付き添いの方1名の観覧は無料です。
※毎月第3日曜日は家庭の日で、正規観覧料の2割引でご利用いただけます。

交通案内

●津駅まで
【鉄道】名古屋から近鉄またはJRで約1時間、大阪から近鉄で約1時間30分
津駅(近鉄名古屋線、JR紀勢本線、伊勢鉄道)西口下車
●津駅(西口)から
【バス】三重交通バス 総合文化センター行き約5分(「総合文化センター前」下車すぐ)
夢が丘団地行き約5分(「総合文化センター前」下車すぐ)
【徒歩】約25分
●お車で
【自動車・観光バス】伊勢自動車道「津IC」から約10分／伊勢自動車道「芸濃IC」から約20分
駐車場約1,400台 ※総合文化センターと共用。思いやり駐車場あり。



MieMu | みえむ | 三重県総合博物館
MieMu: Mie Prefectural Museum, Japan

三重県津市一身田上津部田3060 〒514-0061
3060 Isshinden-kouzubeta Tsu, Mie 514-0061, Japan
tel 059-228-2283 fax 059-229-8310 mail MieMu@pref.mie.lg.jp
HP http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/MieMu/
twitter @mie_pref_museum
facebook https://www.facebook.com/mie.pref.museum

	企画展示室 (3F)	三重の実物図鑑 (3F)	講 座	フィールドワーク
2019 4	第 23 回企画展 ボタンカル・デザイン ー植物のかたち、その観察ー 4月20日(土)～6月16日(日) ● 4/21(日) ギャラリートーク ● 27(土) 記念講演会 「パンナはどこからやってきた？」	明治前期の 三重のできごと 4月16日(火)～ 5月19日(日)  有節 萬古 麗藤 胎輪 秘唐草文 桃形 湯冷	● 13(土) さんちゃんのお食事会 ● // 基本展示スポットガイド ● 21(日) MieMu の日 ● // わくわくワークショップ ● 28(日) 館長と調べる三葉虫のひみつ	
5	● 5/12(日) ギャラリートーク  イタカムシトリスミレ (食虫植物)	トピック展 幕末維新を生きた旅の巨人・松浦武四郎 再び 5月21日(火)～ 7月7日(日)  松浦武四郎肖像 松浦武四郎記念館蔵	● 5(日・祝) わくわくワークショップ 「葉っぱのこすりだし図鑑」 ● 11(土) さんちゃんのお食事会 ● // 学芸員フリートーク	
6	● 6/9(日) ギャラリートーク		● 8(土) さんちゃんのお食事会 ● // 基本展示スポットガイド ● 16(日) わくわくワークショップ	
7	第 24 回企画展 開館 5 周年記念特別展 この男がジブリを支えた。近藤喜文展 7月6日(土)～9月16日(月・祝) ● 7/6(土) スタジオジブリプロデューサーによる ギャラリートーク ● 27(土) 映画「耳をすませば」上映会 ● 8/24(土) スタジオジブリプロデューサーによる トークショー  「魔女の宅急便」イメージボード 1989 年 ©1989 角野栄子・Studio Ghibli・N	新収蔵資料紹介 雲井コレクションにみる戦争と戦時下の暮らし 7月9日(火)～ 9月8日(日)  焼夷弾 (レプリカ)	● 13(土) さんちゃんのお食事会 ● // 学芸員フリートーク ● 21(日) わくわくワークショップ 「おもしろ博物館」	
8			● 10(土) さんちゃんのお食事会 ● // 基本展示スポットガイド ● 18(日) 標本の名前を調べてみよう (2019 年度同定会) ● 24(土) 館長と調べる三葉虫のひみつ	
9			● 7(土) 学芸員フリートーク ● 14(土) さんちゃんのお食事会	● 28(土) さがしてみよう！磯の生物
10	第 25 回企画展 開館 5 周年記念特別展 三重の仏像～白鳳仏から円空まで～ 10月5日(土)～12月1日(日) ● 10/6(日) ミニレクチャー＆ギャラリートーク ● 13(日) ミニレクチャー＆ギャラリートーク ● 26(土) ミニレクチャー＆ギャラリートーク ● 11/2(土) ミニレクチャー＆ギャラリートーク ● 17(日) 記念講演会 ● 24(日) ミニレクチャー＆ギャラリートーク ● 30(土) ミニレクチャー＆ギャラリートーク  木造薬師如来坐像 尾鷲市真蔵寺蔵  タイアップイベント開催予定 ©DMM GAMES/Visualworks	三重の弥生時代 10月17日(木)～ 12月15日(日)  弥生土器 納所遺跡(津市)出土 三重県埋蔵文化財センター保管	● 12(土) さんちゃんのお食事会 ● // 基本展示スポットガイド ● 19(土) おとなのためのコケ講座 ● 20(日) わくわくワークショップ 「どんぐり図鑑をつくろう」 岐阜県博物館交流企画 ● 20(日) 講演会 「仏像が移動する？」	
11			● 9(土) さんちゃんのお食事会 ● // 学芸員フリートーク ● 17(日) わくわくワークショップ 「伊勢型紙でポストカードをつくろう」	● 10(日) 文化財探訪 「三重の仏像をたずねて」
12	第 26 回企画展 1960 年代の熱気を未来につなぐ ～出来事でふりかえる 60 年の歩み～ 12月21日(土)～2月24日(月・振休) ● 12/22(日) ギャラリートーク ● 1/19(日) ギャラリートーク  1960 年代を代表する大衆車 スノビル 360	2020 年新春企画 三重のネズミたち 12月17日(火)～ 1月26日(日)  南京白鼠 (『鼠族図鑑』より)	● 1(日) わくわくワークショップ 「まっぼっくりで X'mas ツリーをつくろう」 ● 14(土) さんちゃんのお食事会 ● // 基本展示スポットガイド ● 15(日) 正月かざりをつくろう ● 22(日) 館長と調べる三葉虫のひみつ	● 1(日) 宮川の石を調べよう ● 8(日) 身近な冬鳥を観察しよう
2020 1			● 11(土) さんちゃんのお食事会 ● // 学芸員フリートーク	● 26(日) 山粕層群の化石をたずねて
2	● 2/16(日) ギャラリートーク	石器は語る 1月28日(火)～ 4月12日(日)  旧勢和村(現多気町)内で採集された石器	● 8(土) さんちゃんのお食事会 ● // 基本展示スポットガイド	
3			● 14(土) さんちゃんのお食事会 ● // 学芸員フリートーク ● 15(日) わくわくワークショップ 「おもしろ博物館」	● 8(日) 身近な冬鳥を観察しよう

※このほかにも、企画展開連イベント等を開催する予定です。また、企業や団体から協賛をいただき、基本展示観覧料が無料となり、各種イベントが盛りだくさんの「コーポレーション・デー」を開催します(不定期)。
開催日時等、最新の情報は、当館ホームページや SNS でご案内します。

さまざまな活動のご案内

当…当日受付 申…事前申込

講座など

- **基本展示スポットガイド** 当《偶数月》
数ある展示コーナーの中から、学芸員のおすすめ展示を解説します。誰が、どの解説をするかは来てみてのお楽しみ。
日程: 第2土曜日 14時～14時30分
- **さんちゃんのお食事会** 当《毎月》
オオサンショウウオのさんちゃんがエサを食べるところを観察しよう。
日程: 第2土曜日 11時～11時30分
- **わくわくワークショップ** 当
どなたでも参加できるワークショップを行います。
日程: 4/21, 5/5, 6/16, 7/21, 10/20, 11/17, 12/1, 3/15 13時～15時
- **学芸員フリートーク** 当《奇数月》
学芸員が知っているあんなこと、こんなこと。いろいろなお話をします。
日程: 第2土曜日 (9月のみ第1土曜日)
13時30分～15時 定員: 80名 対象: 小学生以上
- **館長と調べる三葉虫のひみつ** 当
日程: 4/28, 8/24, 12/22
13時30分～15時 定員: 20名 対象: 小学生以上

- **標本の名前を調べてみよう** 当
(2019年度同定会)
日程: 8/18 対象: 小学生以上
- **おとなのためのコケ講座** 申
日程: 10/19 定員: 10名 対象: 一般 (初心者向け)
- **正月かざりをつくろう** 申
日程: 12/15 定員: 15名 対象: 小学生以上
(ただし小学生3年生以下は保護者同伴)
※別途材料費必要。

フィールドワーク

- **さがしてみよう！磯の生物** 申《現地集合》
日程: 9/28 定員: 20名 対象: 小学生以上
- **文化財探訪「三重の仏像をたずねて」** 申《現地集合》
日程: 11/10 定員: 20名 対象: 一般
- **宮川の石を調べよう** 申《現地集合》
日程: 12/1 定員: 30名 対象: 小学生以上
- **身近な冬鳥を観察しよう** 申《現地集合》
日程: 12/8, 3/8 定員: 30名 対象: 小学生以上 (初心者向け)
- **山粕層群の化石をたずねて** 申《現地集合》
日程: 1/26 定員: 30名 対象: 小学生以上
※フィールドワークへの小学生の参加は保護者同伴

【定員・申込み方法について】

現地集合: 直接現地へお越しください。
当日受付: 開始時間までに所定の場所へお集まりください。定員に達し次第、締切りといたします。
事前申込: 開催日の2か月前から3週間前(必着)の期間に往復はがきまたは電子申請でお申込みください。
※電子申請は、当館ホームページのイベント案内よりお申込みください。
<http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/MieMu/84927046739.htm>
なお、右記のQRコードからもアクセスできます。
○1つの行事につき1通の申込みが必要です。代表者の氏名、年齢、住所、当日連絡が取れる電話番号および参加者全員の氏名、年齢をご記入ください。
○応募者多数の場合、抽選となります。なお、電子申請の場合、申込み後に届く到達確認メールは、当選の通知ではありませんのでご注意ください。
○1件あたりのお申込み人数は4名までとし、これを抽選単位とします。〔コケ講座〕〔正月かざり〕は2名まで
○各イベントは、悪天候などにより中止することがあります。当日参加のイベント実施の可否についてはホームページをご覧いただくか、MieMuへお問い合わせください。
○申込みが定員に満たない場合、募集期間終了後、追加募集を行う場合があります。実施の場合はホームページでご案内します。またはMieMuへお問い合わせください。

【お問い合わせ】 三重県総合博物館(MieMu)
三重県津市一身田上津部田 3060 〒514-0061
TEL 059-228-2283 mail MieMu@pref.mie.lg.jp
HP <http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/MieMu/>

【岐阜県博物館交流企画】 岐阜県博物館とMieMuとの連携企画として、岐阜県博物館の学芸員による講演会を実施します。

講演会 事前申込 定員: 80名
10/20 (日) 13時30分～15時
「仏像が移動する?—安置場所が変わる事情—」
担当: 守屋靖裕 (岐阜県博物館 人文担当学芸員)

※MieMuからも学芸員が岐阜県博物館に出かけて講演会を行います。参加方法は岐阜県博物館にお問い合わせください。

講演会 ● 10/5 (土) 「植物のかたち、その観察」 (森田菜葉学芸員)